



提論

七週年を回顧して

拙社の態度を明らかにす (公明なる新地方人に寄す)

本紙は大正十年二月創刊の格の至すところ。愛んぞ知第一聲を揚げてより茲に七らん諸氏の誹語を是とし予週年、回顧すれば幾多の難のパンナリテイを否とし...

予はかばかりの田舎新聞の予は地方愛のため然して夫予は浅學と雖も感ずる所あり中途暫く擲打ち自ら新聞は、それ諸氏の勢力を乞ひ...

發行日 五日、十五日、廿五日 郵定 稅共 價 一ヶ月十錢 三ヶ月廿五錢 半年四十五錢 一年九十錢

迎歡的狂熱

(同不序順) 名芳者援後

Table listing names of donors and their amounts, such as 諸橋久太郎 贈、井上茂若 贈、佐々木龍 贈...

比類なき磐城出版界の霸王 内務省許可 磐城信用録

豫約清規

申込絶大盛況

一、組織 磐城信用録は非賣品にして加入者に限り頒布す 二、刊行 昭和二年十二月五日 三、申込 希望者は申込用紙に必要事項記載記名捺印の上豫約金全納又は金五圓を添へ...

發行所 東北實業新聞社 申込所 福島縣平町長橋町三十番地

### 預金吸集に終始する

### 各支店銀行を避け

#### 預金は地元銀行へも覺めた!!! 醒めた!!!地方民衆と株主連

金融の現勢は不況の深刻な地方民や株主連は事業産業の安全確保なる放資口の助長發達のために設けられた減少により大勢は緩慢のれたるに外ならず然るに此推移を続け従つて銀行は漸の大精神を没却して預金吸集の減少を告げんと集のみの目的とする他より飛つたあるから、この際の入金の支店銀行に預金取引の差詰り整理とするが如き奇なる現象を表す。預金吸集にある、この預金白するに至つては一大獅牙吸収争奪は銀行經營上の生吼して無自覺より醒めて安命であり一大問題である、全地帯に導かんとするにあ抑も銀行の本態精神は預金と茲に漸く各自の經過にの吸集と共に貸付けるのが訴へて各支店銀行の取引を使命である平町に於ける地産地消の地方銀行へと集りつ元銀行は幾何あるか而も質ある事は地元銀行の親切實健全なる四銀行が吾等生主義の結果でもあるが株活上の安全辨である事は今主連や地方産業家の目醒め更喋々の辯を要せずであるたる一つの現象であらう。

### 磐城實業銀行

#### 愈々新築工事に着手

平町磐城實業銀行は前縣會から改築を叫ばれてきたが今議員鈴木辰三郎氏専務と共回漸く株主の承認を得たのに支配人鈴木源造氏其他の新館を建築する事となり敏腕なる行員顧客本位と熱誠建物會社を買収して大誠努力の結果社運益々昇り建築をする由である工費其現在の社屋では如何にも狹他は未定であるが竣工は七險を告げてゐるので早くか月の豫定である。

### 植田小學校

### 新築工事決定

植田尋常高等小學校新築は三十八坪高き十三尺と親切第一主義の遣り方は基礎工事も出来上り来る三西洋建築硝子窓、材料は杉段々と店務の發展を來し、月より校舎新築起工七月に材にして材料の撰擇にも注事業は一段と繁榮を來したは竣工の豫定であるが敷地意を拂ひ懸下稀れに見る高爾後彼は苦心に苦心を重ね四千五百坪、校舎建坪八百坪の建築物にして落成の上で奮闘した結果社會一般か

### 常磐斯界の一大權威

### 磐城工業商會

#### 眞摯の士にして且熱誠の材たる

#### 商會主 中村佐治助君

求めよ、さらば與へむと西ら多大の信用を得る方策を歐の哲人は謳つた、そこで唯一として賣出した爲め本吾人は空拳を歎ずる勿れ爾縣下は勿論關東東北から遠の空拳は未來の榮達を招致く北海道迄盛大に取引を爲する資本なれば空拳にしてし昨年夏から青森縣の湊町空拳に非ずと謂ふのであに支店を開設販路の擴張に此の眞理を會得して眞個努力して居る營業課目は電自より成功したる平町四丁機と機械器具炭礦用諸機械目(電話一八番)磐城工業を首め其他一般の工業用機商會主中村佐治助氏は艱難械の販賣設計監督並に請負玉成の士である、彼は秋田にして目下發電所工事も引縣の産大正四年藏前の高等受け電機機具の注文も殺到工業學校を卒へ卒業後茨城してゐる氏の事業上の手腕縣日立礦山製作所に入り更力量は努力と相待つて隆々一東京龜井戸工業所に移りたるものであるが更に向後した斯くて八ヶ年學理と實々として準備を爲しつゝあ地とに研究の結果が空手空拳で大正十年磐城工業商會を獨力創立された其當時は極めて微々たるものであつた

は植田町に一大偉觀を呈す神を以て竣工の意氣込みであるであらう。  
あれば比較的立派なものが  
工事費は屋根瓦を除き五萬出來るだらう。  
三千圓、建築請負は常磐工職工組合の從業者は鈴木海業株式會社と植田職工組合、豊田丑藏、小野定吉、小川傳助、古瀬拾五郎、佐藤兼の共同請負にして奉仕的精神、森三藏の諸氏である。

### 四倉銀行社會組

目前の利害を顧みず我が生て行くべき道は將來なり

### 男女貞操雜感十項

- ◎戀愛は自由であつても……貞操の自由は斷じて許されない。
- ◎戀愛に忠實なる人は、貞操を守るにも忠實であらねばならぬ。
- ◎貞操を破棄した後の戀愛は、残るこころの穢き残がいのみである。
- ◎ほんの愛人さば、相手の貞操を尊重し、これを愛護する人である。
- ◎結婚前に貞操を破つた男女は、家庭的に幸福にはなり得ない。
- ◎貞操を破つた人は、生がいのために懺悔しなればならぬ。
- ◎眞摯の人は、自分一生だけでなく子孫をもその爲めに苦しめる。
- ◎一旦貞操を破つた婦人は、大膽に自暴自棄に陥り易いものはない。
- ◎貞操を守るために戦ひ勝つた人は、信用に値する人はない。
- ◎識階級の無〇〇者は、無識の無〇〇者よりも始末がわるい。

### 讀慰安劇

平町吉田新聞店、磐城通信社、東京朝日新聞專賣所、至誠堂新聞店では新聞販賣組合紀念として愛讀者諸君慰安の爲め合同主催の下に謝恩的興行を行ふ筈で初日二十七日から四日間聚樂館で興行前人氣頗る好し出場俳優は市川左半次、勝川又藏、坂東彦藏の一行で大話題大一座である。

### 第 回 產婆 生徒募集

- 一募集人員 若干名
  - 一入學資格 高等小學卒業程度(若くは開學以上ノ學力ヲ有スルモノ)
  - 一修業年限 兩科通じて一ケ年
  - 一申込期間 本年三月三十日マデ
- 遠隔なる町村にして自家より通學し得ざるものは寄宿舎あり  
志望者にして家事上の都合により修學一切の費用を支辨し得ざるものは本人の希望により貸費することもあり (但年齢十八歳以上のもの)
- 増員講師**  
看産 東京帝國大學病院出身  
看産 東京濱田産科病院出身  
看産 東京濱田産科病院出身

馬上 守誠

石城郡植田町

小原 長英

七十七銀行平支店長

河西 八十治

農工銀行平支店長

### 平産婆看護婦學校

校長 清野キヨ

電話 三〇七番

良品廉賣に勝る商賈なし 磐城セメント株式會社 和洋銅鐵

火釜屋商店 電話 九〇一 一三九番  
振替貯金口座東京一〇九五番  
確實敏捷の生命なり

磐城平町五丁目特約代理店金物問屋

良品廉賣に勝る商略なし 磐城セメント株式會社 和洋銅鐵  
磐城平町五丁目 特約代理店 金物問屋

久釜屋商店 諸橋久太郎 電話九〇一三九番  
振替貯金口座東京一〇九五番 確實敏捷の生命なり

### 平町會議員 總まくり (二)

國會、縣會、町村會を問はれただけ不正分子や賣名醜聞  
議員には甲乙丙丁、上中には一大波紋を投げ付けて  
下と云つた様に議員、賜止まるだらう、君の抱負經  
議員、案山子議員など倫から行けば町會議員より  
有能、無能の種々雑多であつた上居つて議員に  
る、兎に角有像無像は別問超越して社會の批判家とし  
題として假りに町村の代て才能を揮つてもらひたい  
表として代議機關に選出さ祈健闘。

### 井上茂作氏

消防を専賣特許として大持  
てに持て囃やされて嬉しが  
つてゐる好漢兒井上君は全  
國消防協會なるものも實現  
せられ彼の抱負提供と來  
たので世人は大に彼れを徳  
とし井上君の名はとみに高  
まつた、彼は嘗つて生活  
の安定と磐城建物會社なる  
ものをして貫らつた事が  
頗る豪膽な利害得失を離  
れ町將來の向上發達のため  
には如何なる難事でも双肩  
に荷ひ正義に猛進する奮闘  
熱血の少壯政治家である、  
平町自体の癌であり重大事  
である大瀧發電所問題に對  
しても如何に健闘を續けつ  
てあるかが衆目の認むる所  
であるが衆目の認むる所  
正義のためには一歩も退か  
ず卓越せる手腕力量を誣は  
れて居るが君又辯論の猛者  
で、その堂々たる議論は既  
に定評がある醫者の本職は  
勿論政治經濟方面にも蘊蓄  
無茶苦茶なバラスシートを  
せる所大であるから君の激  
測たる意氣と相俟つて町會  
は一層意義づけられる譯で  
ある、自治政策に大なる抱  
負意見を有して居るだけそ  
たるもの、眞面目にも一度

### 大森 勇氏

最高學府出の醫學士で南町  
選出の町會議員である、氏  
は頗る豪膽な利害得失を離  
れ町將來の向上發達のため  
には如何なる難事でも双肩  
に荷ひ正義に猛進する奮闘  
熱血の少壯政治家である、  
平町自体の癌であり重大事  
である大瀧發電所問題に對  
しても如何に健闘を續けつ  
てあるかが衆目の認むる所  
であるが衆目の認むる所  
正義のためには一歩も退か  
ず卓越せる手腕力量を誣は  
れて居るが君又辯論の猛者  
で、その堂々たる議論は既  
に定評がある醫者の本職は  
勿論政治經濟方面にも蘊蓄  
無茶苦茶なバラスシートを  
せる所大であるから君の激  
測たる意氣と相俟つて町會  
は一層意義づけられる譯で  
ある、自治政策に大なる抱  
負意見を有して居るだけそ  
たるもの、眞面目にも一度

### 縣下で有名な

### 平産婆看護婦學校

校長清野キヨ子女史主宰

本縣下産婆看護婦學校の權中を疾馳して仁慈惠愛を施  
威として一般社會の信望篤して自己を顧みず其清き精  
き平町町産婆看護婦學校神は實に見上げたものであ  
は實に明治四十五年の創立其功績著明の結果年々生  
にして校長清野キヨ子女史の増加を見るに至り校舎  
が校務一切と經營の任に當増築して之が不便を緩和す  
つて居る、附屬派出看護婦に至つた其美裝の校舎で  
會を設立して一方看護婦を日々女神の如き諸嬢が研  
養成し他方に之が活動の機學修養に餘念がない名實共  
關を備へ殆んど晝夜の別なに完備せる組織の有名な學  
校として入學志願者が多い  
安に努め恐るべき傳染病の  
稀に見る至孝の士

### 嫌はれる

### 不規律が第一

第一に家庭的では不規律でその上  
禮儀を知らぬ、第二には情味に乏  
しく理窟っぽい、第三には日本固  
有の女らしさが無く、妻となつて  
も氣に入らぬ事がある、直ぐ離縁  
話を持ち出す、第四には割合に貧  
乏で經濟觀念に乏しく、金を無駄  
に使う、次には夫や姑達に仕へ  
る心持が薄く、出歩きがすきで  
歸宅が遅く割合に恥らひが薄く、  
家庭内の作業が嫌ひて來客の際  
なご主人をそつちのけにして自分  
が主人願するこゝ男を何とも思は  
が出来る。

### 酒井清氏

常磐線平町停車場前に高莊  
なる四層樓の一大旅館住吉  
屋支店の主人公酒井清氏は  
嚴君勇次郎氏の三回忌に當  
るので同家中庭に安置せる  
故父君の銅像の除幕式を盛  
大に行ふ筈であつたが時節  
柄遠慮する所あり式を廢し  
て靈佛供養のため觀音經を  
印刷して其冊子を親戚知己  
諸君に頒布する事とせり以  
て氏の人格と至考を視ふ事  
が出来ぬ。

## 生徒募集

- 募集人員
- 高等女學部 五十名
- 師範部 五十名
- 技藝部 五十名
- 速成科 五十名

入學資格 師範部並に技藝部、速成科、は高等小學卒業以上の學力あ  
るもの、高等女學部並に技藝部、高等科は尋常小學卒業以  
上の學力ある者、高等科卒業者は選考の上高等女學部二年に入學を許す  
願書提出 三月三十一日限り

## 入學案内

- 高等女學部 修學期間は三年であり、本科は實科高等女學校程度に準じ普通學の外  
珠算簿記を課し將來一家の主婦とし且つ職業婦人として必要な學力技能を養  
成せんとするにあり卒業後會社銀行等の事務員を希望する方には都合であり  
ます。
- 師範部 小學教員養成を主とし、此の科は裁縫を主とし和服洋服は勿論其他  
の手工藝を習得する事が出來ます學科としては僅かに修身、國語、家事、作法等  
かあるのみであり、裁縫を研究せんとするもの、爲には都合のよい科で  
あります。
- 技藝部 高等科は二年の期間であり、此の科は裁縫を主とし和服洋服は勿論其他  
の手工藝を習得する事が出來ます學科としては僅かに修身、國語、家事、作法等  
かあるのみであり、裁縫を研究せんとするもの、爲には都合のよい科で  
あります。
- 技藝部 速成科は高等科と異同してありますが一ヶ年の期間でありますから入學前幾分  
裁縫の素養が必要であります。
- 入學の手續 當分の間選抜試験を行ひませんが御希望の科を記入し期限内に願書を差出な  
さい四月一日入學式を行ひます。
- 寄宿舎 遠方の方の爲に寄宿舎の設備があります、寄宿舎は賄夫を置き共同自炊であり  
ますから食費の如きも大層經濟に上ります、只今の處一日二十五六錢位で間に  
合ひます、尙米其他を持來れば相當の相場で購入し月末計算して食費にあてま  
す。
- 學則 必要の方は郵券二錢御送り下されば早速發送いたします。  
福島縣平町 私立平陽實科女學校

# 祝創刊七週年

## 石城銀行組合

磐城銀行	磐城越銀	磐城實業銀行	磐城東銀	四倉銀行	第七十七銀行	第七十七銀行	農工銀行	常盤銀行
行	行	行	行	行	支店	支店	支店	支店
三丁目	二丁目	南町	四丁目	四倉町	三丁目	二丁目	四丁目	植田町

## 三井吳服店

合資會社 平町三丁目 電話三八番

## 磐城工業商會

中村佐治助

出張所 青森縣三戸郡小中野町新町

## 東部電力株式會社

平營業所

所長 武田精一

## 堀部留造

町濱の久郡葉双

## 磐越銀行

中瀧 野澤 甲俊 藏平

# 植田水田電力氣株會社 社長金成通

### 私立藤田裁縫女學校生徒募集摘要

本校ハ裁縫、家事及技藝等專ラ齊家ニ須要ナル科目ヲ中心ニ更ニ高等普通教育ヲ施シ淑徳ヲ涵養シ智能ヲ啓發シ以テ地方有爲ノ女子ヲ養成スルヲ以テ目的トス

#### 一、募集人員左ノ如シ

- 1、普通科 百五十名 〔高等科通シテ二ヶ年卒業 尋常小學校卒業以上〕
- 2、高等科 若干名 〔一ヶ年卒業、高等女學校及其他ノ裁縫女學校卒業並ニ修了者〕
- 3、速成科 三十名 〔一ヶ年卒業、尋卒以上ノ者ニシテ普通裁縫ノ素要アルモノ〕
- 4、手藝科 若干名 〔一ヶ年卒業、尋卒以上ノ者ニシテ手藝專攻希望ノモノ〕(洋服裁縫專攻希望者モ含ム)
- 5、高等女學部 五十名 〔三ヶ年卒業、高等小學校卒業以上 學課(修身、禮法、國語、算術、珠算、家事、裁縫) 手藝、習字、音樂、教育、教授法、英語 修了者〕
- 6、高等女學部 若干名 〔高等小學校第三學年以上ノ學力ヲ有スルモノ(無試験) 第二學年補欠 高等小學校優等卒業生 (無試験) 學校長成績證明書ヲ要ス〕

●教員養成科 入學資格ハ本校高等科速成科卒業者及本校高等女學部第三年在學者ナルヲ以テ同科希望者ハ先ツ普通科速成科又ハ高女部何レカニ入學サレタシ

二、入學手續

右各科(部)共入學ヲ許ス志願者ハ本校規定在學證書ニ適當記入捺印ノ上  
〔書式不案内ノ者ハ〕二月十五日ヨリ三月卅一日迄二平町私立藤田裁縫女學校  
〔口頭又ハ書面ニヨリ〕ニ提出スベシ

## 私立 藤田裁縫女學校

電話 三二八番